

第74回日本公衆衛生学会自由集会

日本保健師活動研究会

公衆衛生看護を語る会



－保健所と市町村と大学との協働による地区診断－

さまざまな法制度が制定される中で、公衆衛生従事者である保健師等にますます重要となることは、地域で生活する人々の実情を理解し、地域のさまざまな資源の実態と住民の健康状態を把握し、保健所と市町村さらに大学が連携し地域診断を行い、それを基として地域ニーズに対応した事業・活動を企画・実施することです。

長崎県五島保健所と管内の五島市と県立大学が協働した地区診断の活動報告から、日常業務として協働して地域診断を行っていく上での工夫や課題等、それぞれの経験を共有しつつ、自由に話し合いたいと思います。ふるってご参加ください！

【日 時】平成27年11月5日（木）19：00～21：00

【会 場】「えきまえ」 いきいきひろば 11号室

【内 容】

1 話題提供

テーマ「保健所と市町村と大学との協働による地区診断」

話題提供者

木口富士枝 氏（五島保健所） 大坪 京子 氏（五島市健康政策課）

久佐賀真理 氏（長崎県立大学）

2 グループワーク

「保健所と市町村の協働：連携のきっかけ、連携継続の工夫等」

3 まとめ

【申込み】 不要：会場に直接お越しください。

終了後、懇親会を行います。誘い合わせの上、おいでください。

主 催：日本保健師活動研究会（会長 平野かよ子）

世話人：久佐賀真理（長崎県立大学）

稗園砂千子（長崎県県央保健所）

